

第626回

I B C 番組審議会 議事録

— 議 題 —

忘れない3. 11 田老人

平成30年1月18日(木)

(株) I B C 岩手放送

第626回IBC番組審議会

1. 開催日程 平成30年1月18日(木) 午前11時

2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール

3. 委員の出席 委員総数 10名

出席委員 8名

出席委員の氏名

委員長 田代 高章

副委員長 熊谷 志衣子

委員 岩田 圭司 畠山 俊彰

龍澤 尚孝 村井 康典

宮 順子 澤口 たまみ

欠席委員の氏名 小松 務 栗田 均

会社側の出席

武田 敏哉 取締役放送本部長

黒澤 秀之 取締役営業本部長

中島 勝志 報道局長

高橋 和人 報道部副部長・記者(宮古駐在)

事務局

若槻 修 番組審議会事務局長

平澤 泰志 番組審議会事務局員

4. 議題 「忘れない3.11 田老人」

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- 被災地の菓子店の再建にかける1人の人物に焦点を当て、丁寧に粘り強く取材を重ねている。その積み重ねがその時の個人の状況とか、その後の地域の状況の変化がよくわかる貴重な資料となっていて、被災地に寄り添ってきた地域密着型の放送局ならではの番組となっている。
- 主人公の田中さんが気持ちを割と素直に口に出してくれる方で、感情移入して見ることができ、「そうだ私も頑張らなければ」と引き寄せて見ることのできる番組だった。
- 「田老人」というタイトルについて、その説明がなかった。自分たちで言っているのか、宮古の人たちから見て「田老の人たちはこうだよ」ということなのか、三陸地域では言われているのか、そこが気になった。
- 改めて町づくりの難しさというのを感じた。工場と店舗と住宅が10キロの範囲に広がり、とても歩ける距離ではない。果たしてこれから21世紀の町として本当にふさわしいのかどうか。高齢化が進んでいる中で不安を抱いた。
- 田中さんが「壁」という言葉を何度も繰り返しているのが印象に残った。30分という短い番組の中で理解しにくい部分もあったが、さらっと流れる中で、個人と地域の問題、ハード面とソフト面の問題、コンパクトシティと分散型の町、それに若者と高齢者などの対比が番組の中に隠れていたのかなと感じた。
- 画面から見るとまだまだ復興は進んでいない。身内を亡くしてなかなか前向きになれない人もたくさんいると思う。盛岡に住んでいると、ついつい忘れがちになるので、これからもぜひ忘れないように、いろいろなことを取り上げて放送していただきたい。